

ガラセリウムパウダー・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社

兵庫県丹波市山南町谷川1385

Tel : 0795-77-2151

作成日 : 2014年4月11日

変更日 : 2017年2月2日

整理番号 : MSDS-Z137



品番 : 100g入り YGC-P100

危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2（肺）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（肺）

（注）記載なき GHS 分類区分：分類対象外、区分外、分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

肺の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

注意書き

安全対策

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露したとき、または気分が悪い時：医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 単一製品		
	成分	内容	含有量 (%)
	CeO ₂	酸化セリウム(粒子 12~15 μm)	100%
	化学式又は構造式	CeO ₂	
	官報公示整理番号	化審法・1-627	
	CAS 番号	酸化セリウム No.1306-38-3	
	化学物質管理促進法 (PRTR 法)	第一種指定化学物質 : 該当しない 第二種指定化学物質 : 該当しない	
	国連分類及び国連番号	分類基準に該当しない	
危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : 不燃性物質 有害性 : キズロや眼に触れると刺激がある。 環境影響 : 知見なし。		
応急措置	目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。 目の刺激が自足する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚に付いた場合 水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 吸入した場合 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 飲み込んだ場合 口の中をすすぐこと。 気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。		
火災時の措置	消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 消火剤 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤・炭酸ガス・乾燥砂類。 消化を行う者の保護 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。		

<p>暴露防止措置</p>	<p>管理濃度：設定されていない。</p> <p>許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)：設定されていない</p> <p>設備対策 この物質を貯蔵しない。取り扱う作業場には適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設備すること。</p> <p>保護具 呼吸用保護具：適切な呼吸器保護具を着用すること。 保護眼鏡：適切な眼の保護具を着用すること。 保護手袋：適切な保護手袋を着用すること。 保護衣：適切な保護衣を着用すること。</p> <p>衛生対策 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>物理／化学的性質</p>	<p>外観等：白色、又はレンガ色</p>
<p>取り扱い及び保管上の注意</p>	<p>取り扱い 「暴露防止措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸引しないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する際に、飲食または喫煙をしないこと。</p> <p>保管 施錠して保管すること。</p>
<p>漏出時の措置</p>	<p>人体に対する注意事項、保護具および緊急措置 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 密閉された場所に立ち入る前に喚起する。 全ての着火源を取り除く。</p> <p>環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。</p> <p>回収・中和 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。</p> <p>封じ込め及び浄化方法・機材 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。</p> <p>二次災害の防止策 プラスチックシートで覆いをし、産卵を防ぐ。</p>
<p>有害性情報</p>	<p>皮膚腐食性：なし 刺激性（皮膚・眼）：皮膚刺激性 なし 軽微な刺激性（オクテカ酸ラビット 0.1g 投与）</p> <p>亜急性毒性：データなし 慢性毒性：データなし がん原性：OSHA、NTP、IARC等の発癌性物質リストに記載例なし。 変異原性（微生物、染色体異常）：データなし 生殖毒性：データなし 催奇形性：データなし その他：水と反応して有害なガスを発生する等もなく、通常の手続きで有害性はない。</p>

環境影響情報	水生環境有害性(急性有害性)：データなし 水生環境有害性(長期間有害性)：データなし オゾン層への有害性：当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。
廃棄上の注意	残余廃棄物：廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 汚染容器及び包装：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
輸送上の注意	該当の有無は製品によって異なる場合がある。 国際規制：特定できず 国内規定：特定できず 特別安全対策：移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を積み荷しない。
適用法令	適用法令はない。
その他	記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。 また、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。